

DB/SA/BF 審査資料・スケジュールに関する審査会合等での指摘事項に対する対応と認識について

1. はじめに

2022.11.17 のヒアリングにおいて、DB/SA/BF の審査資料に関する審査会合の指摘事項への対応に関して説明する資料を提出し説明させていただく中で、指摘事項への対応は現時点での対応状況を記載するのではなく、それぞれの指摘事項に対しての対応状況と結果として“対応できていなかった”事実に対する認識を示すようコメントをいただきました。

本件に関し、それぞれの指摘事項に関して、現在の対応状況を記載することは不適であったと認識するとともに、本書面ではそれぞれの指摘事項に対する対応状況についての認識をご説明させていただくものです。

2. DB/SA/BF の審査資料に関する審査会合の指摘事項への対応とその結果に関する認識について

2017 年よりプラント側の審査が一旦中断された後、令和 3 年より審査を再開していただき現在に至っております。令和 3 年 8 月 26 日の審査会合において、「まとめ資料は最新の審査実績を踏まえた十分な内容とすること」とのご指摘をいただき、同年 10 月 1 日にまとめ資料を提出させていただきましたが、審査実績の取り込み不足、比較表の作成範囲も不足していること等のご指摘をいただき、先行実績の取り込み方針や比較表の作成範囲について改善策を提示し資料を修正させていただくことと致しました。

その後、令和 4 年 3 月 31 日の審査会合において「残されている審査上の論点に対するスケジュール」の中で、これらの資料修正版の提出時期を R4.5 下旬としたスケジュールをお示ししておりましたが、ハザード側の審査における議論に応じてスケジュールも漸次遅れる状況となり、その後、現実的な工程として R4.10 に審査資料の一括提出、R5.9 月のクリティカル工程内で資料の説明をさせていただく旨説明致しました。

その後の議論の過程において、資料は一括提出ではなく段階的に提出させていただくものとし、令和 4 年 7 月 28 日の審査会合にて、弊社よりその旨を表明致しました。

令和 4 年 8 月 5 日に Gr1、8 月 30 日に Gr2 と提出後、令和 4 年 9 月の Gr1 のまとめ資料に係る事実確認において、貴庁よりまとめ資料の先行審査実績の反映が不十分である旨のご指摘がなされ、改めて、弊社の先行審査実績の取り込みに関して不十分な点があったものと認識致しました。具体的には、弊社と致しましては、先行審査実績から技術的に足りていない、記載が足りていないことを抽出・反映するとともに、現状の泊 3 号炉のまとめ資料と先行審査実績の違いについてご説明するものと考えておりましたが、それだけでは不十分であり、まとめ資料の構文等これまでの審査において積み上げられてきた記載であることを踏まえた先行実績の取り込みが必要であると認識したものです。

また、比較表の作成範囲につきましても、先行審査と同等レベルと考えておりましたが、先行実績の取り込み状況を具体的に示す観点および効率的に審査いただく観点から、基本的には全範囲の比較表を作成することが必要であるものと認識致しました。

令和4年10月25日に改めて「しっかりとした審査資料を作成し提出すること」とのご指摘をいただき、これらを踏まえて、令和4年11月1日の審査会合にて、弊社よりまとめ資料の見直しを行う旨を表明し、再提出する時期を踏まえた説明可能時期を再設定させて頂きました。(審査会合の指摘に対する対応状況については添付資料1参照、説明可能時期の再設定については添付資料2参照)

3. おわりに

上記の通り、弊社の認識に不十分な点があり、これまでに最新審査実績の反映の不足について幾度もご指摘いただいております。現在、順次見直しを進めている審査資料については、用語の横並びや各条文の連携等不十分なところも一部ございますが、大きな認識のずれは無くなってきているものと認識しております。現在、その他のまとめ資料についても鋭意修正を進めており、それらを踏まえた説明可能時期を含む進捗状況について資料2としてまとめました。資料2については、次回の審査会合にて説明させていただく予定です。

地震・津波等ハザード側の議論を踏まえて評価結果を示す時期は明確には示せない状況ではありますが、それ以外の追而含めて、最終の説明可能時期は、令和5年3月としております。年度内に説明を終わらせるという全体方針の中でギリギリのスケジュールとなっておりますが、可能な限り前半に条文の説明をさせていただき、事実確認及び指摘事項の回答も並行で実施させていただくような組立てとしております。

引き続き審査スケジュールに遅れが出ないようにマネジメントしてまいります。審査の進捗に応じたスケジュールの変更については、適宜調整させていただきたくよろしくお願いいたします。

4. 添付資料

添付資料1：原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合における泊発電所3号炉に係る審議結果（スケジュール関連）とその対応状況

添付資料2：泊3号炉 DB/SA/BF 審査資料の説明状況

以上

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合における泊発電所 3 号炉に係る審議結果（スケジュール関連）とその対応状況

| 審議結果 | | 対応状況 |
|--------------------|--|---|
| 審査会合日 | 指摘事項の内容 | |
| 令和 3 年 8 月 26 日 | <p>耐震設計方針及び耐津波設計方針の説明に先立って、以下のとおり対応すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震設計方針及び耐津波設計方針については、基準地震動及び基準津波の策定結果を反映したまとめ資料を提出すること 地下水位の設定及び地盤の液状化に係るまとめ資料については、基準地震動の策定結果の影響を受けない範囲を先に提出すること まとめ資料は、最新の審査実績を踏まえた十分な内容とすること | <ul style="list-style-type: none"> 耐震設計方針及び耐津波設計方針については、基準地震動及び基準津波の策定結果を反映したまとめ資料を提出する予定。 地下水位の設定については、基準地震動の策定結果の影響を受けない範囲について先行して資料を提出し、ご審議いただいた。 地盤の液状化に関する説明時期が漸次遅れている状況。全体工程に影響が出ないように管理および対策してきているところであり、先日、まとめ資料を提出し、12/5 の週に想定している審査会合にてご審議いただく予定。 まとめ資料は、先行審査実績を十分反映した資料を作成する。 |
| 令和 3 年 8 月 26 日 | <p>まとめ資料（耐震・耐津波設計方針に係るものを除く）は、最新の審査実績を踏まえた十分な内容とすること。</p> | <p>耐震・耐津波設計方針に係るものを除くまとめ資料について、令和 3 年 10 月 1 日に提出した。合わせて、大飯・女川との比較結果を示した比較表を提出した。</p> <p>しかしながら、提出したまとめ資料について審査実績の取り込みが不足していたこと、比較表についても作成範囲が不足している等のご指摘をいただき、先行実績の取り込み方針や比較表の作成範囲について改善策を提示し、資料を修正することとした。</p> |
| 令和 3 年 8 月 26 日 | <p>審査工程上のクリティカルパスとなる審査項目を踏まえ、適切な説明スケジュールを検討するとともに、審査に十分な資料を提出すること。また、必要な場合には体制を強化した上で、説明可能時期についてスケジュールを守ること。</p> | <p>クリティカルパスとなる耐津波設計方針についての説明スケジュールを作成するとともに、その他の審査に関する論点も含めて令和 4 年 3 月に「残されている審査上の論点に対するスケジュール」を作成した。また、資料については、審査に十分な資料とするとともに、スケジュールに遅れが生じないように、体制強化も含めたマネジメントを実施していく。</p> <p>現在、ハザード側の審議として、議論が収束していないものもあり、漸次スケジュールが遅れてきている状況ではあるが、クリティカルパス、サブクリティカルパスを考慮しても全体工程に影響が出ないように管理および対策をしてきているところ。また、提出した資料についても事実確認をする上で情報が十分な資料となっていないことから、これらについても是正するよう努力しているところ。</p> |

| 審議結果 | | 対応状況 |
|--------------|--|---|
| 審査会合日 | 指摘事項の内容 | |
| 令和4年 3月3日 | <p>審査の全体工程を管理する上で、クリティカルパスに関連する審査項目の相互の関係を踏まえ、自然ハザード側も含めてクリティカルパスに関する論点を自ら抽出した上で、論点が審査工程に与える影響と論点の重要度(審査実績のない評価等)に応じて対応方針を検討し、全体工程の管理などのマネジメントを行うことが重要との認識を事業者と共有したが、そのようなマネジメントがこれまで出来ていない原因を踏まえて適切にマネジメントを行うこと。また、クリティカルパスへの影響の度合いに応じた工程管理、調達管理、資料準備、体制強化を図るなど適切なマネジメントを行い、同じような工程変更が繰り返されないようにすること。</p> | <p>審査の全体工程を管理すべく、自然ハザード側も含めてクリティカルパスに関する論点を抽出し、それぞれに対する作業方針及びスケジュールをまとめた「残されている審査上の論点とその作業方針および作業スケジュールについて」を作成した。また、全体工程に遅れが生じないように、クリティカルパスの他、サブクリティカルの案件がクリティカルにならないよう工程管理等の管理の他、体制強化を図るなどの対策を行うこととした。</p> <p>現在、ハザード側の審議として、議論が収束していないものもあり、漸次スケジュールが遅れてきている状況ではあるが、クリティカルパス、サブクリティカルパスを考慮しても全体工程に影響が出ないように管理および対策を実施してきているところ。</p> |
| 令和4年 3月3日 | <p>論点の抽出など大きな課題の抽出に欠けている部分があれば、より慎重に、先行審査の実績を踏まえた泊の特徴を把握し、適切に審査に対応すること。</p> | <p>論点となりうる大きな課題の抽出に漏れが無いよう、先行審査実績を確認し、泊の特徴を踏まえた課題を抽出し、論点となる大きな課題が抽出された場合には、「残されている審査上の論点とその作業方針および作業スケジュールについて」に反映し、適切に審査に対応することとした。</p> <p>これまでに防潮堤の線形形状等新たな論点となった部分の反映や対応状況への反映が不十分なところもあり、是正し対応してきているところ。</p> |

| 審議結果 | | 対応状況 |
|---------------|--|--|
| 審査会合日 | 指摘事項の内容 | |
| 令和4年 3月31日 | 資料2-2のNo.22の防潮堤の平面線形形状の決定に影響する事項について、「根拠も含めた網羅的な整理を実施し」としつつ「少なくとも以下を含めて説明する」と表現されており、網羅的な整理がなされないような表現になっているが、影響する事項は漏れなく整理して説明すること。 | 防潮堤の平面線形形状については、網羅的な整理を行い、影響する事項をもれなく整理して説明した(7/28審査会合)。 |
| 令和4年 3月31日 | 資料2-3の作業スケジュールにおいて、今回示されたクリティカルパスは、説明スケジュール上でのクリティカルパスであり、論点に対するコメント回答等は含まれていないと認識しているが、今後の審査の進展に応じて、どの審査項目がクリティカルパスになるかについて常に注意を払いつつ、クリティカルパスの審査期間の中に他の審査項目が収まるように工程管理を行い、効率的な審査となるようにすること。 | 現在、ハザード側の審議として、議論が収束していないものもあり、漸次スケジュールが遅れてきている状況ではあるが、クリティカルパス、サブクリティカルパスを考慮しても全体工程に影響が出ないように管理および対策を実施してきているところ。 |
| 令和4年 3月31日 | 入力津波に係る解析がクリティカルパスの中で重要な部分を占めているため、耐津波設計方針を説明する際には、入力津波の方針等がある程度説明し、今回どこまで説明するのか、今後何についてどこまで説明するのかを最初に明らかにしておくことが重要。その意味で、審査のプロセスを効率的に進めるためにどのような取り組みができるかを今一度検討すること。 | <p>耐津波設計方針について、以下の通り説明させていただいているところ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐津波設計方針については、防潮堤の構造設計の条件となる「漂流物の影響評価」の方針等について、先行審査実績も踏まえた上で、津波の流向・流速評価結果等を待たずに説明を開始する。 審査のクリティカルパスとなる入力津波解析は、解析条件・解析モデルについて、基準津波の確定を待たずに説明を開始する。 また、基準津波が固まった後に、耐津波設計方針について一通りのご説明を行い、審査実績のない設計条件・評価手法を採用する場合にはご説明する。また、解析結果が必要な項目については、評価が完了したのものから順次ご説明する。・解析及び評価において作業方針に影響を及ぼすような結果が確認された場合は、解析及び評価がすべて完了せずとも説明する。 <p>現状、入力津波の解析条件等基準地震動の確定を待たずに説明するものについて、説明時期が漸次遅れている。全体工程に影響が出ないよう管理および対策を実施してきているところ。</p> |

| 審議結果 | | 対応状況 |
|---------------|--|---|
| 審査会合日 | 指摘事項の内容 | |
| 令和4年 3月31日 | 特に防潮堤の設計については他の発電所でも慎重に時間をかけて審査し、実績も積まれてきているので十分参考になると考えられるため、今後の審査の対応で十分検討すること。 | 「残されている審査上の論点とその作業方針および作業スケジュールについて」に反映するとともに、他の発電所の審査実績も考慮し、設計方針等に反映しているところ。 |
| 令和4年 6月23日 | <p>令和3年10月に提出された耐震設計方針及び耐津波設計方針を除く設計基準対象施設及び重大事故等対処施設並びにバックフィットのまとめ資料について、先行の審査実績が一部反映されていないことから、第997回審査会合（令和3年8月26日）でも指摘したとおり、例えば、次の点に留意するなど、最新の審査実績を踏まえた十分な内容とした審査資料を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 6条（外部からの衝撃による損傷の防止）、8条（火災による損傷の防止）、9条（溢水による損傷の防止）等、先行BWRの審査において、防護対象の選定に係る考え方が整理されていること。 <p>特に8条に関しては、平成31年2月13日の原子力規制委員会で決定された「火災感知器の設置要件等に係る関係審査基準の改正」に係る先行プラントの設工認の審査状況を踏まえ、許可において説明すべき事項がないか確認すること。</p> | <p>（令和4年7月28日審査会合における回答）</p> <p>耐震設計方針及び耐津波設計方針を除く設計基準対象施設及び重大事故等対処施設並びにバックフィットに係る審査資料は、左記ご指摘の例示の点も踏まえ、最新の先行プラントにおける審査実績を網羅的に反映した資料を、本日提示したスケジュールに基づき順次提出する。</p> <p>左記ご指摘の例示については、それぞれ以下の対応に基づき審査資料に反映することとし、その他留意すべき点についても同様に反映していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 6条、8条、9条において、「発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針」に定める安全機能に基づいて防護対象を選定したうえで、想定する自然事象、外部人為事象、内部事象（内部溢水、内部火災）について設置許可基準規則の解釈、審査基準、評価ガイド等を参照、各事象による施設影響の特徴を考慮し、各事象の防護対象を決定している。資料提出に際しては、先行BWRの審査において整理されている防護対象の選定に係る考え方を確認のうえ調整を図る。 <p>8条に関しては、平成31年2月13日の原子力規制委員会で決定された「火災感知器の設置要件等に係る関係審査基準の改正」に係る先行プラントの設工認の審査状況を注視し、設置許可段階で説明する事項がないか確認を実施している。</p> <p>上記を踏まえ、令和4年8月31日および9月30日にまとめ資料を提出した。しかしながら、まとめ資料に関して先行審査知見の反映に対する当社の認識に不十分な点があったことを踏まえ、まとめ資料の見直しを実施しており、再提出する時期を踏まえた説明開始時期を再設定した。（資料4-2参照）</p> |

| 審議結果 | | 対応状況 |
|---------------|--|---|
| 審査会合日 | 指摘事項の内容 | |
| 令和4年 6月23日 | <p>審査工程上のクリティカルパスとなる耐津波設計については、現実的な作業スケジュールを検討すること。その上で、耐震設計及び耐津波設計を除く設計基準対象施設及び重大事故等対処施設並びにバックフィットに係る審査項目については、例えば、次の点に留意するなど、効率的に審査を進めるための説明順と説明時期を検討し、審査項目ごとの審査資料提出時期、説明開始可能時期、説明終了目標時期を含む具体的な計画を7月中に審査会合で示すこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「審査項目ごとの審査資料提出時期」は、社内で認識を合わせた上で、実現性のある提出時期を定めること。 ➤ 「説明開始可能時期」の設定にあたっては、DB/SA/BFの論点および新規説明事項を明確にするとともに、先行の審査実績を踏まえ、効率的に審査を進めるための説明順を検討すること。 <p>「説明終了目標時期」は、先行の審査実績を踏まえるとともに、安易な計画の後ろ倒しに陥らぬように、事業者として具体的な説明終了目標時期を定めるなどして現実的な作業スケジュールを作成すること。</p> | <p>(令和4年7月28日審査会合における回答)</p> <p>耐津波設計については、先行プラントの審査において論点説明に要した期間、また、基準津波策定前から方針等を先行して説明させていただくことも踏まえ、改めて当社が現実的と考える作業スケジュールを設定した。</p> <p>耐震設計及び耐津波設計を除く設計基準対象施設及び重大事故等対処施設並びにバックフィットに係る審査項目については、下記の取り組みに基づき審査会合を要すると想定している項目について審査資料提出時期、説明開始可能時期、説明終了目標時期を含む具体的な計画を、審査会合を要しないと想定している項目については審査資料提出時期を設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 審査資料は最新の審査実績が反映されていることを作成担当者および責任者が改めて確認することとし、確認および提出に向けた事務作業に要する期間も含めた上で、実現できる時期を設定した。 ✓ 各条文および審査項目の審査資料は、先行プラントとの比較を行った資料の冒頭に当社が考える論点および新規説明事項を掲載し、最新の審査実績を参考に説明内容の軽重や説明時期の分散を考慮し、適切な説明期間を設定した。その上で、クリティカルパスとなる耐津波設計の審査期間が終了するまでにこれらの説明を終了したいと考える時期を設定した。 <p>(資料2-2-1にて7月28日に回答)</p> |
| | <p>DBSABFに関する資料提出時期として、資料の作成進捗状況を踏まえ、まとめ資料を一括して提出のする場合には、資料提出が遅れることから、Gr1~4に分割し上記の通り提出させていただくこととし、順次提出させていただいているところ。</p> <p>しかしながら、まとめ資料に関して先行審査知見の反映に対する当社の認識に不十分な点があったことを踏まえ、まとめ資料の見直しを実施しており、再提出する時期を踏まえた説明開始時期を再設定した。(資料4-2参照)</p> | |

| 審議結果 | | 対応状況 |
|----------------|---|--|
| 審査会合日 | 指摘事項の内容 | |
| 令和4年 7月28日 | バックフィットに係る審査項目については、プラント側の審査項目の確認を踏まえた対応となるため、効率的に進められるよう検討すること。例えば、有毒ガス防護の審査項目では、本体施設の新基準適合性に係る設置許可基準規則第26条、第34条等の確認が前提にあり、その内容を踏まえて確認を行う必要があるため、必要に応じて説明開始時期等を検討すること。 | バックフィットに係る審査項目については、プラント側の審査項目の確認を踏まえた対応となるため、本体施設の確認後に説明開始時期を設定した。 しかしながら、まとめ資料に関して先行審査知見の反映に対する当社の認識に不十分な点があったことを踏まえ、まとめ資料の見直しを実施し、再提出する時期を踏まえた説明開始時期を再設定した。(添付資料2参照) |
| 令和4年 7月28日 | 今後は、作業スケジュールに基づき審査準備を進めていくことが重要であるものの、スケジュールに変更や修正が必要になった場合、又は提出された審査資料の事実確認を行っていく段階で論点が生じた場合には、速やかな対応及び調整ができるように努めること。 | スケジュールに変更や修正が必要になった場合、又は提出した審査資料の事実確認を行っていく段階で論点が生じた場合には、適宜対応していく。 |
| 令和4年 9月29日 | <p>【入力津波の設定等】</p> <p>① 敷地周辺の遡上・浸水域の評価に当たっては、基準津波及び耐津波設計方針に係る審査ガイドを踏まえ、例えば、斜面を含む地形、河川、水路、人工構造物等の敷地及び敷地周辺の特徴を考慮して敷地への遡上の可能性を検討すること。</p> <p>② 敷地及び敷地周辺の特徴を踏まえ、入力津波に影響を与える可能性のある要因を網羅すること。例えば、敷地周辺の陸上地すべりに伴う地形変化及び防潮堤の前面護岸の地震による地形変化などを入力津波の評価に影響を与える可能性のある要因として抽出すること。また、これらの要因が入力津波の評価に与える影響を検討した上で、入力津波の評価の妥当性を説明すること。</p> <p>③ ①②に関する説明時期について、次回会合において示すこと。</p> | <p>審議結果③への対応を検討した結果、①②に関する説明時期は、資料1-3-2の作業スケジュールにおける通しNo.21のうち、「耐津波設計に係る解析工程」および「耐津波設計方針」に次のとおり設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2022年12月5日の週：左記審議結果①②に関する評価方針を説明する。 ▶ 2023年5月8日の週：評価方針を踏まえた解析結果を説明し、入力津波の見通しを説明する。 ▶ 2023年9月25日の週：入力津波の評価結果を説明する。 |
| 令和4年 10月25日 | 提出されている審査資料は、事業者が審査側に適合性を説明する資料となっておらず、審査側が適合性に十分な資料であるか、判断根拠を探さなければならないような資料になっている。先行審査実績の反映等、しっかりとした資料作成を行った上で、提出すること。 | まとめ資料について先行審査実績を確認し、必要な事項について取り込んだまとめ資料を順次作成し提出してきたが、先行審査知見の反映に対する当社の認識に不十分な点があったことを踏まえ、まとめ資料の見直しを実施し、再提出する時期を踏まえた説明可能時期を設定した。(添付資料2参照) |

泊3号炉 DB/SA/BF 審査資料の説明状況

(注)耐震設計方針[(第4条、第39条)、(第3条、第38条の設備の地盤への対処も含む)]および耐津波設計方針(第5条、凡例[ハッチング])
 第40条)に関連する審査項目は別管理のため、この資料には記載していない。
 ※1:基準地震動等ハザード側の審議結果を踏まえた評価結果を示すもの
 ※2:ハザード側の審議によらない追而の有無と解消時期

凡例[新たな課題]
 ◎:基準適合性に関する課題
 ○:記載内容に確認事項あり
 △:記載の適正化
 -:現時点で課題のないもの

■:審査会を実施し現時点で課題がないもの
 ●:審査会を実施し、指摘事項があるもの
 ■:本日の会合条件

| ID | 審査項目 | 資料提出 | 追而(ハザード関連)※1 | 追而(プラント関連)※2 | | 審査会合 | 新たな課題 | ステータス ()内は説明可能時期 | |
|----|------------------------|---|--|--------------|---------------------------|----------------------------|----------------------------|---|--|
| | | | | 有無 | 解消時期 | | | | |
| 1 | 外部事象 (第6条) | ・竜巻に対する設計方針 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (基本方針:2022/12/5週予定 別添・補足:2023/2/20週予定) | |
| 2 | | ・火山事象に対する設計方針 | 2022/8/31 | 有 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (基本方針:2022/12/5週予定 別添・補足:2023/1/10週予定) | |
| 3 | | [BF]降下火砕物の影響評価 | BFの対応は、「外部事象(第6条) 火山事象に対する設計方針」の審査に含めて説明する。 | | | | | | |
| 4 | | ・外部火災に対する設計方針 | 2022/8/31 | 有 | 有 | 2023年1月(防油堤変更に伴う評価) | | まとめ資料見直し中 (基本方針:2022/12/5週予定 別添・補足:2023/1/10週予定) | |
| 5 | | ・その他自然現象等に対する設計方針 | 2022/8/31 | 有 | 有 | 2023年3月(地滑り影響評価) | | まとめ資料見直し中 (基本方針:2022/12/5週予定 別添・補足:2023/1/16週予定) | |
| 6 | 不法な侵入(第7条) | 2022/8/5 2022/10/7 2022/11/11 | 無 | 無 | — | 2022/10/25 | — | まとめ資料仕上げ中 | |
| 7 | 内部火災(第8条) | 2022/9/30 | 有 | 有 | 2023年2月(火災感知器設置要件明確化対応反映) | | | まとめ資料見直し中 (基本方針:2022/12/12週予定 別添・補足:2023/2/13週予定) | |
| 8 | 火災感知器の設置要件の明確化に係る対応 | 「内部火災(第8条)」の審査に含めて説明する。 | | | | | | | |
| 9 | 内部溢水(第9条) | 2022/8/31 | 有 | 有 | 2023年2月等(溢水評価条件の見直し結果の反映) | | | まとめ資料見直し中 (基本方針:2022/11/21週予定 別添・補足(評価方針):2023/1/30週予定 別添・補足(評価結果):2023/2/20週予定) | |
| 10 | 誤操作の防止(第10条) | 2022/8/5 2022/10/28 2022/12/1(予定) | 無 | 無 | — | 2022/10/25 | ◎ | 会合指摘事項回答予定(2023.1予定) まとめ資料見直し中 | |
| 11 | DB | 安全避難通路(第11条) | 2022/8/5 2022/10/28 2022/12/1(予定) | 無 | 無 | — | 2022/10/25 | ○ | 会合指摘事項回答予定(2023.1予定) まとめ資料見直し中 |
| 12 | | 安全施設(第12条) | 2022/8/5 | 無 | 無 | — | 2022/10/25 | ○ | 会合指摘事項回答予定(2023.2予定) まとめ資料見直し中 (2023/1/4週予定) |
| 13 | 全交流電源喪失(第14条) | 2022/8/5 | 無 | 無 | — | 2022/10/25 | △ | 会合指摘事項回答予定(2023.1予定) まとめ資料見直し中 (2022/11/28週予定) | |
| 14 | SFP(第16条、第23条) | 2022/8/31 2022/11/22 | 無 | 有 | 2022年12月(別添資料の一部作成中) | | | まとめ資料見直し中 | |
| 15 | RCPB(第17条) | 2022/8/5 2022/11/10 | 有 | 無 | — | 2022/10/25 | ○ | 会合指摘事項回答予定(2023.1予定) まとめ資料見直し中 | |
| 16 | 安全保護回路(第24条) | 2022/8/5 2022/10/7 2022/11/11 | 無 | 無 | — | 2022/10/25 | — | まとめ資料仕上げ中 | |
| 17 | 原子炉制御室(第26条) | 2022/8/31 | 有 | 無 | — | | | まとめ資料見直し中 (2022/12/12週予定) | |
| 18 | 監視設備(第31条) | 2022/9/30 | 無 | 無 | — | | | まとめ資料見直し中 (2022/11/21週予定) | |
| 19 | 保安電源(第33条) | 2022/8/5 | 無 | 無 | — | 2022/10/25 | ◎ | 会合指摘事項回答予定(2023.1予定) まとめ資料見直し中 (2022/11/28週予定) | |
| 20 | 緊急時対策所(第34条) | 2022/8/31 | 有 | 無 | — | | | まとめ資料見直し中 (2022/12/12週予定) | |
| 21 | 通信連絡設備(第35条) | 2022/9/30 | 無 | 無 | — | | | まとめ資料見直し中 (2023/1/10週予定) | |
| 22 | [BF]有毒ガス | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | | 関連条文(26条、34条、1.0)の説明待ち、 および他社審査中プラントの最新知見反映中 (2023/1/30週予定) | |
| 23 | PRA | Lv 1 | 2022/11/30予定 | 無 | 無 | — | | 提出資料作成中 | |
| 24 | | Lv 1.5 | 2022/11/30予定 | 無 | 無 | — | | 提出資料作成中 | |
| 25 | | 停止時 | 2022/11/30予定 | 無 | 無 | — | | 提出資料作成中 | |
| 26 | | 地震 | 2022/11/28の週予定 | 有 | 有 | 2023年3月(地滑り影響評価) | | 提出資料作成中 | |
| 27 | | 津波 | 2022/12/12の週予定 | 有 | 無 | — | | 提出資料作成中 | |
| 28 | 事故シーケンスグループ及び重要事故シーケンス | 2022/11/30予定 | 有 | 有 | 2023年3月(地滑り影響評価) | | | 提出資料作成中 | |
| 29 | 有効性評価(第37条) | 解析コード | PWR合同で審査を実施しているが、最新知見の反映に関する対応は「有効性評価(第37条)」の審査に含めて説明する。 | | | | | | |
| 30 | SA | CV温度圧力 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2023/2/6週予定) | |
| 31 | | 2次冷却系からの除熱機能喪失 | 2022/8/31 2022/11/24(予定) | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 | |
| 32 | | 全交流動力電源喪失 | 2022/8/31 2022/11/11 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | 本日 2022/12/● | 本日説明 資料修正中(追而) | |
| 33 | | 原子炉補機冷却機能喪失 | 2022/8/31 2022/11/24(予定) | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 | |
| 34 | | 原子炉格納容器の除熱機能喪失 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2022/11/28週予定) | |
| 35 | | 原子炉停止機能喪失 | 2022/8/31 2022/11/24(予定) | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 | |
| 36 | | ECCS注水機能喪失 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2022/11/28週予定) | |
| 37 | | ECCS再循環機能喪失 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2023/1/10週予定) | |
| 38 | | 格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損) | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2023/1/10週予定) | |
| 39 | | 過圧破損 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年3月等(除染係数の見直しによる放出量評価) | | まとめ資料見直し中 (2023/1/23週予定) | |
| 40 | 過温破損 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 (2023/2/6週予定) | | |

(注)耐震設計方針(第4条、第39条)、(第3条、第38条の設備の地盤への対処も含む)および耐津波設計方針(第5条、第40条)に関連する審査項目は別管理のため、この資料には記載していない。
 ※1:基準地震動等ハザード側の審議結果を踏まえた評価結果を示すもの
 ※2:ハザード側の審議によらない追及の有無と解消時期

凡例[ハッチング]
 ■:審査会を実施し現時点で課題がないもの
 ●:審査会を実施し、指摘事項があるもの
 ▲:本日の会合案件

凡例[新たな課題]
 ○:基準適合性に関する課題
 ◎:記載内容に確認事項あり
 △:記載の適正化
 -:現時点で課題のないもの

| ID | 審査項目 | | 資料提出 | 追及(ハザード関連)※1 | 追及(プラント関連)※2 | | 審査会合 | 新たな課題 | ステータス ()内は説明可能時期 | |
|----|-----------------------------|------------------------------|----------------------------|-------------------------------------|---|-----------------------|------------------------------|------------------------------|--|--|
| | | | | | 有無 | 解消時期 | | | | |
| 41 | 有効性評価 (第37条) | CV | DCH | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2023/2/6週予定) | |
| 42 | | FCI | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 (2023/1/23週予定) | | |
| 43 | | MCCI | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2023/1/23週予定) | | |
| 44 | | 水素燃焼 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2023/2/6週予定) | | |
| 45 | | SFP | 想定事故1 | 2022/8/31 | 有 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2022/12/12週予定) | |
| 46 | | 想定事故2 | 2022/8/31 | 有 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2022/12/12週予定) | | |
| 47 | | 停止時 | 崩壊熱除去機能喪失 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 (2023/2/20週予定) | |
| 48 | | | 全交流動力電源喪失 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 (2023/2/20週予定) | |
| 49 | | | 原子炉冷却材の流出 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2023/2/20週予定) | |
| 50 | | | 反応度誤投入 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2023/2/20週予定) | |
| 51 | 1.0 | 43条 | 共通(1.0.2(保管アクセス)以外)【1.0】 | 2022/9/30 | 有 | 有 | 2023年3月等(アクセスルート変更に伴う被ばく評価等) | | まとめ資料見直し中 (有毒ガス関連・体制:2022/12/19週予定 本文:2023/2/20週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 52 | | | 共通(1.0.2(保管アクセス)以外)【43条】 | 2022/8/31 | 有 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映)等 | | まとめ資料見直し中 (本文:2022/12/12週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 53 | | | 共通(1.0.2(保管アクセス))【1.0/43条】 | 2022/10/7 2022/11/10 | 有 | 有 | 2023年3月(地滑り影響評価) | 本日 2022/12/● | 本日説明 資料修正中(追及) | |
| 54 | 1.1 | 44条 | ATWS | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/2/6週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 55 | 1.2 | 45条 | 高圧時冷却 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (本文:2022/11/18 添付資料:2023/3予定) | |
| 56 | 1.3 | 46条 | 減圧 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (本文:2022/12/5週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 57 | 1.4 | 47条 | 低圧時冷却 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/3/6週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 58 | 1.5 | 48条 | 最終ヒートシンク | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/1/16週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 59 | 1.6 | 49条 | CV冷却 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/1/16週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 60 | 1.7 | 50条 | CV過圧破損防止 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年3月等(アクセスルート変更に伴う被ばく評価等) | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/1/16週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 61 | 【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(過圧破損) | | | 油3号は、該当設備なし。 | | | | | | |
| 62 | 設備・技術的能力 | 1.8 | 51条 | CV下部注水 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/3/6週予定 添付資料:2023/3予定) |
| 63 | | 1.9 | 52条 | CV水素対策 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/2/6週予定 添付資料:2023/3予定) |
| 64 | | 1.10 | 53条 | RB水素対策 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/2/6週予定 添付資料:2023/3予定) |
| 65 | | 1.11 | 54条 | SFP | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年3月(アクセスルート変更に伴う被ばく評価) | | まとめ資料見直し中 (本文:2022/12/12週予定 添付資料:2023/3予定) |
| 66 | | 【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(SFP蒸気影響) | | | 2022/8/31 無 無 — 関連条文(想定事故1.2、1.11)の説明待ち | | | | | |
| 67 | 1.12 | 55条 | 放射性物質の拡散抑制 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/3/6週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 68 | 1.13 | 56条 | 水源 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年3月等(アクセスルート変更に伴う被ばく評価等) | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/3/6週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 69 | 1.14 | 57条 | 電源 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/2/6週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 70 | 1.15 | 58条 | 計装 | 2022/8/31 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (本文:2023/1/10週予定 添付資料:2023/3予定) | |
| 71 | 1.16 | 59条 | 原子炉制御室 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年3月(除染係数の見直しによる被ばく評価) | | まとめ資料見直し中 (2022/12/12週予定) | |
| 72 | 【BF】KK67号炉の技術的知見の反映(MCR居住性) | | | 2022/8/31 無 無 — 関連条文(1.16/59条)の説明待ち | | | | | | |
| 73 | 1.17 | 60条 | 監視測定 | 2022/9/30 | 無 | 有 | 2023年3月(除染係数の見直しによる被ばく評価) | | まとめ資料見直し中 (2022/11/21週予定) | |
| 74 | 1.18 | 61条 | 緊急時対策所 | 2022/8/31 | 無 | 有 | 2023年1月(アクセスルートの変更反映) | | まとめ資料見直し中 (2022/12/12週予定) | |
| 75 | 1.19 | 62条 | 通信連絡 | 2022/9/30 | 無 | 無 | — | | まとめ資料見直し中 (2023/1/10週予定) | |
| 76 | 2.1 | — | 大規模損壊 | 2022/11/30予定 | 有 | 有 | 2023年3月(地滑り影響評価) | | 提出資料作成中 | |

(注)耐震設計方針[(第4条、第39条)、(第3条、第38条の設備の地盤への対処も含む)]および耐津波設計方針(第5条、凡例[ハッチング])
 第40条)に関連する審査項目は別管理のため、この資料には記載していない。
 ※1:基準地震動等ハザード側の審議結果を踏まえた評価結果を示すもの
 ※2:ハザード側の審議によらない追而の有無と解消時期

凡例[新たな課題]
 ◎:基準適合性に関する課題
 ○:記載内容に確認事項あり
 △:記載の適正化
 -:現時点で課題のないもの

■:審査会を実施し現時点で課題がないもの
 ●:審査会を実施し、指摘事項があるもの
 ■:本日の会合案件

| ID | 審査項目 | 資料提出 | 追而(ハザード関連)※1 | 追而(ブランド関連)※2 | | 審査会合 | 新たな課題 | ステータス ()内は説明可能時期 |
|----|----------------|-----------|--------------|--------------|---------------------------|------|-------|---|
| | | | | 有無 | 解消時期 | | | |
| 77 | 共通 火災(第41条) | 2022/9/30 | 有 | 有 | 2023年2月(火災感知器設置要件明確化対応反映) | | | まとめ資料見直し中 (基本方針:2022/12/12週予定 別添・補足:2023/2/13週予定) |
| 78 | 技術的能力(添付書類五) | 2022/9/30 | 無 | 無 | — | | | まとめ資料見直し中 (2023/2/20週予定) |
| 79 | 品証(添付書類十一) | 2022/9/30 | 無 | 無 | — | | | まとめ資料見直し中 (2023/2/20週予定) |